

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 黎明の郷

令和2年度 社会福祉法人黎明の郷 法人本部 事業報告

1 基本方針

当法人では、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）に基づき、障害者に対し、生活の場、就労やそのための訓練を行う場を提供するとともに、適正な法人運営に努めた。

障害福祉サービス事業所「トライ工房」及び地域活動支援センター「ひまわり」では、障害者が自立し、社会復帰を行うにあたり、家族の事情や病気の治療などから、生活する場がなかったり、一人で生活したり就労することができない人のために、本人や家族からの相談を受けるとともに、利用者に対し必要な指導や訓練を行い、日常生活及び社会生活を総合的に支援できるよう障害者福祉の増進を図った。

また、世界的に新型コロナウイルスが蔓延するなか、当法人においては、感染予防対策を徹底することにより、利用者などの関係者から感染者が生じることがなかった。

2 事業内容

(1) 障害福祉サービス事業所「トライ工房」

- ・就労継続支援B型事業所・・・定員 21人
- ・自立訓練（生活訓練）事業所・・・定員 6人（平成31年4月より休止）

(2) 地域活動支援センター「ひまわり」

3 事業運営

(1) 理事会、評議員会及び監査会等の開催

① 理事会の開催状況

開催日	出席者 ／定数	議 題
R2.4.28 (決議日)	6／6 (書面)	※決議の省略（書面決議） <議案> 議案第1号 社会福祉法人黎明の郷評議員候補者の推薦について
R2.6.8	5／6	<議案> 議案第2号 令和元年度社会福祉法人黎明の郷事業報告について 議案第3号 令和元年度社会福祉法人黎明の郷収支決算について 議案第4号 社会福祉法人黎明の郷令和元年度定時評議員会の日時及び場所等について 議案第5号 社会福祉法人黎明の郷評議員選任・解任委員会委員の選任について <報告> 報告第1号 理事長の職務の執行及び日常業務の報告について 報告第2号 社会福祉法人黎明の郷評議員選任・解任委員会委員のみなし決議結果について <その他> 今後の主な日程について

開催日	出席者 ／定数	議 題
R3. 3. 22	5／6	<議案> 議案第 6 号 障害福祉サービス事業所トライ工房自立訓練(生活訓練)事業管理運営規程の廃止について 議案第 7 号 社会福祉法人黎明の郷経理規程の一部改正について 議案第 8 号 社会福祉法人黎明の郷職員給与規程の一部改正について 議案第 9 号 令和 2 年度社会福祉法人黎明の郷収入支出補正予算(第 1 号)について 議案第 10 号 令和 3 年度社会福祉法人黎明の郷事業計画について 議案第 11 号 令和 3 年度社会福祉法人黎明の郷収入支出予算について <報告> 報告第 3 号 理事長の職務の執行及び日常業務の報告について <その他> 理事及び監事の選任スケジュールについて

② 評議員会の開催状況

開催日	出席者 ／定数	議 題
R2. 6. 22	6／7	<議案> 議案第 1 号 令和元年度社会福祉法人黎明の郷収支決算について <報告> 報告第 1 号 令和元年度社会福祉法人黎明の郷事業報告について 報告第 2 号 社会福祉法人黎明の郷評議員選任・解任委員会委員の選任について <その他> 今後の主な日程について

③ 監査会の開催状況

開催日 令和 2 年 5 月 2 9 日
出席者 川越監事、稲原監事
監査内容 令和元年度分収支決算及び事業報告等について

④ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催日 令和 2 年 5 月 1 4 日
出席者 深田委員長、稲原委員、潟淵委員
協議内容 評議員の選任について

⑤ 指定障害福祉サービス事業者等実地指導の実施状況

実施日 令和2年12月3日
指導者 富山県健康課
出席者 山田施設長、寺西施設長補佐、潟淵施設長補佐
指導対象 就労継続支援B型事業、一般相談支援事業

(2) 職員の処遇

① 健康管理

定期検診を実施することにより、職員全員の健康管理に努めた。

- ・期 間 令和2年9月～11月
- ・内 容 視力検査、聴力検査、X線、血液検査、尿検査、心電図、女性検診、男性検診、問診

② 資質向上

講習会・研修会等への参加についての便宜を図り、法人として職員の資質向上に積極的に努めた。

4 れいめいフェスタの開催

第19回れいめいフェスタは、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、開催を中止した。

5 法人の業務及び財務情報の開示

地域交流室に法人の業務及び財務に関する書類の閲覧場所を設置し、法人としての重要な情報を市民に開示した。

6 非常災害対策

非常災害対策として、火災発生による災害や地震災害を想定し、施設の利用者と職員による避難訓練を実施した。

- ・訓練の内容…… 避難経路、避難場所、災害通報の手順等の周知徹底を図り、火災を未然に防止するための初期消火と人命と安全確保を最優先とする避難訓練を行った。
- ・実施時期……… 11月27日
- ・避難場所……… 法人施設の前庭（施設内から避難）

7 寄附の受け入れ

(1) 寄附金

月 日	寄附者名	寄附金額
R2. 12. 15	小矢部市善意銀行(小矢部市連合婦人会の預託)	5,000 円

(2) 寄附物品

月 日	寄附者名	寄附物品名
R2. 5. 11	高岡教区寺青年会	不織布マスク
R2. 12. 8	小矢部市連合婦人会	日用品等

令和2年度 障害福祉サービス事業所「トライ工房」 事業報告

1 基本方針

通所利用を希望する障害者に、作業指導・生活指導等を行いながら、「生活の自立支援」、「就労支援」等の供与を図り、地域において健康で文化的な生活を営むことができるよう支援することを目的とした。

2 職員の職種、数及び職務の内容

職 名	人 数	職 務 内 容
施 設 長	1	・障害福祉サービス事業所「トライ工房」業務の統括（ひまわりと兼務）
サービス管理責任者	1	・関係機関とのサービス提供に関する連絡調整等 ・サービス提供に関する利用者からの相談業務等
目標工賃達成指導員	1	・工賃向上のための各種取り組み
職業指導員	2	・利用者が自立できるよう必要な就職上の技術指導等 ・利用者の心身状態を配慮した就職意欲向上支援等
生活支援員	1	・利用者からの日常生活面等の相談、メンタルケア業務等 ・利用者の心身状況を配慮した生活意欲、社会参加向上支援等
合 計	6	

3 事業運営

(1)各種会議

会議名	職 員	実施日	内 容
ミーティング	法人職員	毎朝	・一日の予定（相談・訪問・行事など）の確認に関する事 ・利用者の処遇、職員間の情報共有等に関する事
職員会議	トライ工房職員	随時	・利用者の支援状況、支援対策に関する事
運営会議	トライ工房職員	随時	・トライ工房の年間行事、施設修繕等に関する事
ケア会議	関係職員	24 回	・施設利用者の事例検討に関する事 ・援助・支援計画に関する事
工賃向上会議	トライ工房職員	随時	・受託・自主製品作製、販売に関する事
利用判定会議	関係職員	随時	・利用希望者の利用の可否、支援計画等に関する事

(2) 職員研修

月 日	研修名	参加職種	場 所
R 2. 6. 22	小矢部市ボランティアセンター運営委員会	目標工賃達成指導員	小矢部市総合保健福祉センター
R 2. 7. 8	小矢部市社会福祉法人連絡会	施設長	小矢部市総合保健福祉センター
R 2. 7～R 3. 1	砺波地域障害者自立支援協議会就労支援部会	目標工賃達成指導員	小矢部市総合保健福祉センター
R 2. 8～R 3. 3	小矢部市障害支援区分判定審査会	サービス管理責任者	小矢部市総合保健福祉センター
R 2. 8. 27	富山県精神障害福祉サービス事業所連絡協議会研修会	施設長	サンフォルテ
R 2. 9. 30	富山県精神障害福祉サービス事業所連絡協議会研修会	施設長	サンフォルテ
R 2. 10. 22	家族の集い	目標工賃達成指導員	厚生センター小矢部支所
R 2. 11. 25	第2回砺波地域障害者自立支援協議会本会議	施設長	小矢部市総合保健福祉センター
R 2. 12. 10	富山県精神障害福祉サービス事業所連絡協議会	施設長	ゆりの木の里
R 3. 1. 21	施設外就労研修	サービス管理責任者 目標工賃達成指導員	オンラインセミナー
R 3. 2. 5	砺波圏域障害者就労支援ネットワーク会議	目標工賃達成指導員	砺波体育センター
R 3. 3. 1	小矢部市ボランティア担当施設職員連絡会	目標工賃達成指導員	小矢部市総合保健福祉センター
R 2. 3. 4	小矢部市社会福祉法人連絡会	施設長	小矢部市総合保健福祉センター

4 利用者の処遇

(1) 利用定員

就労継続支援 B 型事業所・・・21 人

自立訓練（生活訓練）事業所・・・6 人（休止中）

(2) 受入れ手順

申し込み → 見学 → 体験実習（5 日間） → 認定調査 → 支給決定 → 通所・利用契約

(3) 利用料その他の費用

- ・ 支給決定した市町村が定めた利用者負担金を徴収した。
- ・ 5 日間の体験利用中は、就労継続支援 B 型は 400 円/1 日、生活訓練は 400 円/1 日の利用料を徴収した。

(4) 送 迎

自主通所が困難な方のために、送迎を実施した。ただし、利用料は無料とした。

(5) 食事（昼食）

昼食の弁当を持参しない方は宅配弁当を利用した。

(6) 健康管理

利用者のケース記録等からその状況を把握し、主治医、ケースワーカーと情報交換を行うことにより、その後の援助と対応に努めた。

(7) 衛生管理等

利用者が使用する施設の衛生管理に努めるとともに、授産事業を行う作業室の安全管理に努めた。

(8) 新型コロナウイルス感染防止対策

毎日、検温を行い利用者の健康状態を確認するとともに、定期的な換気やマスク着用の徹底など感染防止に努めた。また、手洗いや手指の消毒、咳エチケットなどを呼び掛けた。

(9) 年間行事

R2. 11.13	Go to 氷見	社会見学、レクリエーション	番屋街、海浜植物園	19 人
R3. 1.4	新年会	交流会、レクリエーション	トライ工房	18 名

5 就労継続支援B型事業

(1) 作業・就労指導

利用者のニーズに応じて選択肢を広げ、通所による生産活動やその他の機会の提供を通じて多様なサービスを提供し、就労に必要な知識及び能力の向上や生活面での相談支援を効果的に実施しながら、就労継続のための支援を行った。

具体的な指導内容（就労継続支援B型事業所）

作 業	内 容
ダンボール加工	・組み立て、のりづけ加工、箱折り
衣類の値付け、梱包	・衣類等の値付け、シール貼り、梱包
シール貼り	・靴箱にシールを貼る
箱詰め作業	・贈答品等の箱詰め
プラスチック加工	・組立て、溶着
電子部品加工	・防災無線機の組み立て
自主製品作製・販売	・コーヒー販売、アクリルたわし、竹炭加工等
施設外就労	・企業実習（延べ 0 名）

(2) 日 課

通所日……月～金曜日（土、日、祝日は休館）

9 : 2 0 体操・ミーティング
9 : 3 0 作業訓練
1 0 : 4 5 休憩
1 1 : 0 0 作業訓練
1 2 : 0 0 昼食・休憩
1 3 : 0 0 作業訓練
1 4 : 3 0 休憩
1 4 : 4 5 作業訓練
1 6 : 0 0 片付け・清掃
1 6 : 1 0 帰宅

(3) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 (人)	394	298	395	368	335	361	399	342	351	323	318	401	4,285
開所日数 (日)	21	16	22	21	19	20	22	19	20	19	18	23	240
平均利用 者数(人)	18.8	18.6	18.0	17.5	17.6	18.1	18.1	18.0	17.6	17.0	17.7	17.4	17.9

(4) 工賃の支払い

通所者の作業時間、作業能力に応じ、毎月工賃を支払った。

平均利用者工賃……… 2 9 4 円/時間額 1 9 , 2 5 0 円/月額

6 自立訓練(生活訓練)事業

令和元年度から、人員配置や経営収支の面から事業休止中。

7 小矢部市ボランティア活動支援事業

小矢部市からの受託事業として、ボランティア活動支援事業を実施した。

実施日	実施内容	参加者数
R2. 12. 7	リース作りをやってみよう	20 人
R3. 2. 22	マジックに挑戦	22 人

8 家族との連携

入所・退所時には家族にも来所してもらい、家庭での状況の把握や今後の援助と連携について話し合いの機会を持った。また、経済的・社会的援助が必要な場合は、適宜連絡をとり、密接な情報交換を行った。

9 医療機関との連携

利用者の心身不良時の対応について、医療機関からの電話連絡等により随時助言をしてもらった。

10 地域との連携

(1) 地域交流

綾子ふれあい朝市 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 協力事業

自助グループ「赤とんぼ」

期 日……毎月第1土曜日 10:00～12:00

場 所……地域活動支援センターひまわり 地域交流室

内 容……清掃活動、勉強会、社会見学ツアー、バーベキュー、機関誌作成など

11 ボランティア受け入れ体制

ボランティアについては、トライ工房のイベントや行事に積極的に受け入れるとともに、ボランティア活動を通して、障害者やその家族との交流を図りながら、よき理解者、支援者になってもらった。

12 内部点検の実施状況について

定期的に施設内と周辺の点検を行い、施設を安全に利用できるように心掛けた。

令和2年度 地域活動支援センター「ひまわり」事業報告

1 基本方針

障害者への創作的活動・生産活動の機会の提供や、地域社会との交流機会を図りながら、日常生活及び社会生活の向上につながるよう総合的に支援した。また、障害者からの相談に応じ、行政、保健医療サービス、障害福祉サービス事業を提供する関係機関と連携しながら、本人の意向、障害の特性などに応じ必要な援助を行い、障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように支援することを目的とした。

2 職員の職種、人数及び職務内容

職 名	人 数	職 務 内 容
施 設 長	1	地域活動支援センター「ひまわり」業務の統括（トライ工房と兼務）
相 談 支 援 専 門 員 （精神保健福祉士、 社会福祉士）	3	利用者の経済的、心理的及び社会的問題・生活問題等の相談受付及び解決援助業務
指 導 員	2（1）	利用者の要望に応じた生活指導や、自立した社会参加を営むことができるよう必要な支援業務
合 計	6（臨職1を含む）	

3 各種会議・研修

（1）運営・利用者処遇に関する会議

会議名	職 員	実施日	内 容
ミーティング	法人職員	毎日	地域活動支援センター「ひまわり」業務の統括（トライ工房と兼務）
運営会議	ひまわり職員	2回	利用者の経済的、心理的及び社会的問題・生活問題等の相談受付及び解決援助業務
登録者会議	ひまわり職員	6回	利用者の要望に応じた生活指導や、自立した社会参加を営むことができるよう必要な支援業務
障害福祉サービス ケア会議	ひまわり職員、保健師、 病院ワーカー、ホーム ヘルパー等	41回	障害福祉サービスを利用する方にサービス等利用計画作成のための担当者会議を行った。
備品設備営繕工事 会議	ひまわり職員	3回	購入物品の選出と決定や施設建物の状況を確認し修理を検討した。
地域交流会議	法人職員、地域住民、 関係機関等	1回	実行委員会等を開催し、地域交流の行事を企画運営した。
法人職員会議	法人職員	2回	行事や災害対策等について検討した。

(2) 職員研修

月 日	研修会名	場 所	参加職種
R2. 8. 6	GSV 開催にむけたプレ ZOOM 研修会	障がい者サポートセンタ ーきらり	相談支援専門員
R2. 9. 12	富山県相談支援従事者初任者研修ガイ ダンス	E ラーニング（相談室）	相談支援専門員
R2. 9. 23	富山県相談支援従事者初任者研修ガイ ダンス	E ラーニング（相談室）	相談支援専門員
R2. 9. 30	精神障害者の相談支援～一人ひとりの 思いを聴けていますか～	富山県精神障害者障害福 祉サービス事業所連絡協 議会	相談支援専門員
R2. 10. 6	富山県相談支援従事者初任者研修	富山県民会館 402 号室	相談支援専門員
R2. 10. 7	富山県相談支援従事者初任者研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R2. 10. 13	令和 2 年度相談支援基礎研修（第 1 幕）	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R2. 11. 10	令和 2 年度相談支援基礎研修（第 2 幕）	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R2. 11. 11	富山県相談支援従事者初任者研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R2. 11. 27	富山県相談支援従事者現任研修事前課 題ガイダンス	E ラーニング（相談室）	相談支援専門員
R2. 11. 27	令和 2 年度スキルアップ研修	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R2. 12. 14	精神コンサルテーション（事例検討会）	砺波厚生センター小矢部 支所 1 階講堂	相談支援専門員
R2. 12. 15	富山県相談支援従事者初任者研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R2. 12. 16	富山県相談支援従事者初任者研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R2. 12. 22	令和 2 年度相談支援基礎研修（第 3 幕）	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R3. 1. 20	富山県相談支援従事者現任研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R3. 1. 26	令和 2 年度相談支援基礎研修（第 4 幕）	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R3. 2. 19	令和 2 年度スキルアップ研修	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R3. 2. 25	富山県相談支援従事者現任研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R3. 2. 26	富山県相談支援従事者現任研修	富山県民会館 401 号室	相談支援専門員
R3. 3. 24	相談支援専門員オンラインミーティン グ	ZOOM（相談室）	相談支援専門員

4 利用者

(1) 対象者

地域で生活をし、障害があるため日常生活を営むのに支援を要する人を対象とした。

(2) 登 録

個人に対する細やかでかつ継続的なサポートを提供するため、利用者の登録を行った。登録手続きは、利用希望者が「地域活動支援センター利用申込書」に「主治医の意見書」を添えてひまわりへ提出し、「地域活動支援センター利用契約書」を締結することで完了する。

市別登録者数

市名	小矢部市	高岡市	砺波市	南砺市	その他	合計
人数	117 人	14 人	14 人	15 人	3 人	163 人

男性登録者数 98 人 女性登録者数 65 人

延利用者

内 容	来 所	電 話	訪 問	合 計
人 数	4, 409 人	1, 459 人	401 人	6, 269 人

(3) 開所日

火曜日～土曜日（月曜日、日曜日及び祝日は休館）

(4) 開所時間

10：00～17：00

(5) 利用料

無料

(6) 記 録

① 登録者個票

ひまわり登録者の個票を作成し、利用開始日や利用しているサービス、その援助内容や援助計画について記録した。

② 個別記録

登録者及び訪問者等それぞれの個別記録を作成し、相談や訪問などの援助経過の記録、支援活動参加状況などについて記録した。

③ センター業務日誌

利用者及び来所者の把握をするとともに、その日の活動や施設内での出来事について記録した。

④ 相談支援業務日誌

利用者からの一般相談及び計画相談についての方法、経路及び支援内容を記録した。

(7) ニーズの把握

登録者の生活及び病気等に関するニーズを把握するため個別面接を実施し、関係機関の理解や対応を促すとともに、連携方法等を検討した。

(8) 利用状況の把握

1年を通して利用された人数や利用されたサービス、年齢及び居住地などを把握することで利用者の増加を図り、利用しやすいよう努めた。

5 業 務

(1) 指定特定相談支援業務

指定特定相談支援事業所として障害者からの相談を受け、障害支援区分認定調査とサービス等利用計画の策定及びモニタリング票の作成等を行い、小矢部市からの受託事業として実施した。

① 相 談

生活問題や就労問題、住宅問題、あるいは家族調整を含む対人関係の問題などに対して来所や電話により相談に応じた。必要時には、医療機関をはじめ、厚生センター、市及び関係機関と連携をとり、ケアカンファレンス会議を開催した。相談の受付は施設の開所時間内とするが、日中の相談や来所が困難な人のために、夜間電話相談日を設けて対応した。

年間相談件数（相談内容別）

相 談 内 容	件 数	相 談 内 容	件 数
福祉サービスの利用支援	329	家計・経済支援	38
障害や病状の理解	157	生活支援	16
健康・医療支援	126	就労支援	68
不安解消・情緒安定支援	158	社会参加・余暇活動支援	4
保育・教育支援	1	権利擁護支援	5
家族関係・人間関係支援	85	その他	166

年間相談件数（相談方法別）

	電 話 (うち夜間電話)	来 所	訪 問	同 行	個別支援 会議	関係機関	その他	合 計
件数	234 (48)	396	127	5	21	365	5	1,153

健康相談実施状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
延人数	13	9	9	12	9	10	9	11	11	12	10	15

月平均実人数 4.1 人、月平均延人数 10.8 人、年間実人数 5 人、週 1 回定期相談者 3 人

計画相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	28	31	35	22	27	34	28	27	31	26	26	31	346

② 訪 問

病院、厚生センター、小矢部市との連携により、ソーシャルワーカー、保健師等からの紹介や情報提供あるいは利用者の依頼により訪問を行った。障害福祉サービス利用者等については個別計画に基づき訪問するとともに、サービス等利用計画作成依頼者については個別計画に基づき訪問してモニタリング票を作成した。

③ 面 接

登録者に対しては定期的又は随時に面接をし、現在の状況の確認をしながら、話し合いの場を提供した。また、未登録者に対しても要望に応じて面接をし、各人の求めるサービス内容の聞き取りや困りごとの解決に努めるとともに、登録をすすめるなど継続的支援を行った。

④ ケアマネジメント

障害者の希望に応じたサービスを総合的に提供できるようにすることを目的として、関係機関と連携したケア会議のもと、ケアマネジメントを行った。

⑤ 認定調査・概況調査

障害支援区分を判定するための認定調査及び認定調査対象者の課題や問題等の調査を行った。(障害支援区分認定調査 27 回、概況調査 346 回)

(2) 指定一般相談支援業務

富山県から指定一般相談支援事業者（地域移行・定着担当）の指定を受け、相談支援専門員・地域移行推進員が退院に向けた相談・助言、地域移行に向けての計画書の作成、同行支援、関係機関との連絡・調整など地域における生活に移行するための支援体制を整えた。また、グループホームや自宅等に退院し、就労継続支援事業所や地域活動支援センターを利用しながら地域生活を継続している障害者に対し、退院に向けてのケア会議を計 2 回行った。

(3) 日中の活動の場の提供

フリースペース事業

利用時間……ひまわりの開所時間と同様とした。

利 用 者……ひまわりの登録者を原則とし、未登録者の利用も可能とした。

利 用 料……無料とし、個人的に使うものは実費を徴収した。

そ の 他……インターネット利用、図書貸し出し、健康器具利用、カラオケサービスなど

(4) 交流活動

① 利用者交流

※ 自助グループ 赤とんぼ

- ・ 日 時…基本毎月第1土曜日 10:15～11:30
- ・ 場 所…地域活動支援センターひまわり等
- ・ 内 容…話し合い、清掃活動、社会見学など事業計画に基づき活動を行った。
- ・ 参加者…延べ133名（実施回数12回）

② 地域交流

※ 生活講座（ひまわりサロン）

- ・ 日 時…毎月水曜日 13:30～
- ・ 場 所…地域活動支援センターひまわり 城山公園
- ・ 内 容…健康ウォーキング、買い物ツアー、マスク作り等
- ・ 参加者…延べ375名（実施回数36回）

※ 簡単料理教室

- ・ 日 時…毎月第2土曜日 10:00～12:00
- ・ 場 所…地域活動支援センターひまわり調理室及び地域交流室
- ・ 内 容…花見ちらしを季節の食材を使い調理を行った。
- ・ 参加者…延べ12名（実施回数1回）

※ THE☆麺DAY

- ・ 日 時…毎月第4曜日 11:00～12:00
- ・ 場 所…地域活動支援センターひまわり調理室及び地域交流室
- ・ 内 容…肉うどん、ナポリタン、そうめん等の麺類を作った。
- ・ 参加者…延べ0名（実施回数0回）

※ ミニシアター

- ・ 日 時…毎月第4土曜日 13:30～15:30頃
- ・ 場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室
- ・ 内 容…利用者の方の要望や新作DVDを上映した。
- ・ 参加者…延べ102名（実施回数10回）

※ その他行事

小矢部名所散策、ガーデニング、年末大掃除等

③ カルチャー活動

個人の希望や目的に応じ、フリースペースでの自由な活動の場を提供するとともに、講師を招いて、月1回の華道、自力整体などのカルチャー教室を開催した。

(5) 情報提供業務

① 機関誌の発行・ホームページの更新

ひまわり利用者の融和、親睦及び仲間づくりの手段として機関誌を隔月発行した。行事の感想、利用したサービスへの意見など、種々の声を掲載するとともに、ひまわりの行事報告や活動案内等にも利用した。発送先は、登録者をはじめ、家族、市、厚生センター、医療機関、他施設、法人役員などへ送付した。また、ホームページを更新し、ひまわりの概要・活動紹介、毎月の行事予定や活動報告などの情報をインターネットで提供した。

② 家族支援事業

家族相談会…… 精神障害者及びその家族が安心して地域生活を送るために、本人、家族の相談内容により必要な援助を行う富山県家族相談員を紹介した。

- ・ 日 程……毎月第3火曜日 10:00～11:30
- ・ 相談会回数……11回
- ・ 相談件数…… 5件（来所相談2件、電話相談3件、訪問0件）
- ・ 相談者……家族5件、本人0件、親族0件、関係機関0件）

6 小矢部市障害者地域活動支援事業

障害者の社会復帰を促進するために、社会復帰に関する活動内容の情報提供を行い、地域住民の理解と協力を得られるように、小矢部市からの受託事業として活動支援を行った。

- ・ 自助グループ「赤とんぼ」への支援
- ・ 「メルヘン家族会」への支援

7 啓発事業

民生委員児童委員関係者や町内会長、地域生活アドバイザーなどの各種団体に対し、ひまわりのパンフレット・機関誌などを配付し、理解の促進を図った。

8 関係機関との連携

(1) 厚生センター、福祉行政機関、病院等

関係機関と連携し、地域生活への移行及び社会的な自立を促進するとともに、関係機関と連携しながら、地域における支援体制を構築した。

(2) 社会福祉協議会

社会福祉協議会の協力を得て、障害者への理解とボランティアの育成を図った。また、行事開催時にボランティアの参加協力を依頼した。

(3) 公共職業安定所及び障害者職業センター

就労を希望される障害者に対し求職活動を支援するため、公共職業安定所や障害者職業センターとも連携を図った。

(4) 他の障害福祉サービス事業所

県内の障害福祉サービス事業所の利用者がひまわりを利用される際には、支援方法などについてお互いに連絡・相談を行うとともに、行事等開催時にも相互に協力し合った。

9 メルヘン家族会との連携

メルヘン家族会の事務局を担当し、定例会では施設での状況を伝えるとともに、家族会の意見も取り入れながら連携を図った。（定例会、交流会、家族教室など 延べ93名参加）

10 ボランティア受け入れ体制

カルチャー活動の講師や食事会などの行事に、メンタルヘルスサポーターや地域のボランティアの方々を新型コロナウイルス感染症対策しながら受け入れた。また、ボランティア活動を通して障害者やその家族との交流を図り、よき理解者・支援者になってもらえるよう体制づくりを図った。

11 砺波地域障害者自立支援協議会

砺波圏域の障害者福祉について、ひまわりは定例支援会議、相談支援ワーキングに所属し、協議会の事務局の運営に携わった。（定例支援会議、相談支援ワーキング、地域生活支援拠点整備検討プロジェクト会議など 計17回参加）